

総合型選抜 | 知のかけはし入学試験

趣旨

本入試は、4年間の深い学びと人間的成長の機会を得ることを真摯に求める者の中から、出願時までには修得した学力に加え、情報を整理分析する力、論理的に思考する力、課題を発見する力、リーダーシップ、自分の意見を表現する力等に優れた者を選抜することを目的とします。

知のかけはし入学試験と学力の3要素の関係

◎特に強く関連している ○強く関連している △関連している	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
出願書類	△	△	△
外国語資格・検定試験の成績	◎	○	
講義の要旨	△	◎	
小論文	△	◎	
グループディスカッション	△	◎	◎
面接	△	◎	○
基礎学力検査	◎	○	

入学試験日程

出願期間	第一次選考結果発表	第二次選考	合格者発表日	入学手続締切日
2024年9月2日(月)～9月9日(月) 締切日消印有効*	2024年9月27日(金) 10:00	2024年10月19日(土)	2024年11月1日(金) 10:00	2024年11月15日(金)

*日本国外から出願する場合は、9月9日(月)必着とします。

選考方法

- 第一次選考合格者に対して第二次選考を行います。
- 第一次選考：志望理由書、活動報告書、出身学校調査書、外国語資格・検定試験の成績に基づいて書類審査を行います。
- 第二次選考：講義、講義の要旨、小論文、グループディスカッション、面接、基礎学力検査*を実施します。小論文・グループディスカッションは講義に関連した内容とします。
- *情報数理科のみ数学の基礎学力検査を実施します。

入学検定料 35,000円

特徴

- 本入試の合格者を対象とした「挑戦する知性」奨学金^{*1}があります。採用された場合は、学納金相当額および授業料入者には寮経費相当額を4年間給付^{*2}します。なお、「挑戦する知性」奨学金に採用された場合は、入学を辞退することはできません。
 - *1 「挑戦する知性」奨学金を希望する場合は、入試出願と同時に奨学金の申請もする必要があります。奨学金の申請には条件等があります。奨学金の申請資格等、詳細については公式サイト「挑戦する知性」奨学金募集要項をご参照ください。
 - *2 毎年度継続審査があります。
- 他大学との併願、本学の「学校推薦型選抜」および「一般選抜」との併願も可能です。なお、「挑戦する知性」奨学金に採用された場合は、知のかけはし入学試験での入学を辞退することはできません。

概要

志願者の意欲・個性・学力・資質を出願書類、英語資格・検定試験の成績、講義の要旨、小論文、グループディスカッションおよび面接等により多面的・総合的に評価して可否を判定します。

募集学部・学科、募集人員

現代教養学部

人文学科 11名、国際社会学科 6名、経済経営学科 8名、心理学科 4名、社会コミュニケーション学科 7名、情報数理科 4名

※人文学科は出願の際に志望専攻を選択していただきます。合格し入学する場合、出願の際に志望した専攻に入学となります。

※出願状況および選考の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般選抜(個別学力試験型)の募集人員に加えられます。

出願資格

以下の要件をすべて満たしている女子とします。

(1) 次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を2025年3月修了見込みの者
 - ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年3月31日までに修了見込みの者
- (2) 調査書の3年1学期(二期制の場合は3年前期)までの全体の「学習成績の状況」が3.7以上の者

出願条件

出願に際して、2022年10月以降に受験した以下いずれかの4技能の英語資格・検定試験の基準を満たしていること。

1技能でもスコアを有していない場合は、出願条件を満たしません。

試験名称	基準(4技能合計)	注意事項
ケンブリッジ英語検定 4技能CBTリンガスキル	140以上	・4技能CBTリンガスキルは、自宅受験は対象としません。
実用英語技能検定(2級以上) (従来型・S-CBT・S-Interview)	1950以上	・各級の合格・不合格ではなく、CSE2.0のスコアが基準となります。 ・従来型の一次試験免除の場合を除いて、同一試験回のスコアのみ有効とします。 ・従来型の場合は、二次試験を2022年度第2回以降に受験したスコアを有効とします(一次試験の受験日は問いません)。 ・従来型の場合、一次試験不合格もしくは二次試験未受験のスコアは、対象としません。
GTEC(検定版・CBT)	930点以上	・GTEC(アセスメント版)、および大学生・社会人向けGTECは対象としません。
IELTS™(Academic Module) (ペーパー版・コンピューター版)	4.0以上	・オンライン版(IELTS Indicator、IELTS Online)、およびIELTS™(General Training Module)は対象としません。 ・One Skill Retakeのスコアは不可とします。
TEAP(RL,W,S)	225点以上	・2023年4月以降に受験したものを有効とします。 ・同一試験日のスコアのみ有効とします(複数日のスコアの合算は不可とします)。
TEAP CBT	420点以上	
TOEFL iBT®	42点以上	・TOEFL ITP®テスト、TOEFL iBT® Home Edition、およびTOEFL® Essentials™は対象としません。 ・Test Dateスコアのみ有効とします。 ・MyBest®スコアを利用することはできません。
TOEIC® L&R および TOEIC® S&W	790点以上	・TOEIC® IP テストは対象としません。 ・「TOEIC® L&R」および「TOEIC® S&W」両検定試験の受験およびスコア(4技能)を必須とします。片方(2技能)のスコアしか有していない場合、出願条件を満たしません。

知のかけはし入学試験 過去の出題内容

2024年度	講義内容	現代社会を異なる価値観が対立する状況と特徴づけたうえで、そのような状況が生じた背景を考察し、対立を克服する道筋を考える、という問題提起を行った。手がかりとして提供したのは、カール・マンハイムという社会学者が提示した「知識の存在拘束性」という視点である。
	講義の要旨	出題の意図は、講義で提示された抽象的で耳慣れない発想を、自分の知識や経験と関連づけて理解し、思考を深めることができるのかを見ることにある。
	小論文テーマ	「知識の存在拘束性」が自覚されるのはどのような場合であると考えられますか。具体的な事例や自分の体験などを挙げながら800字程度で論じてください。
	グループディスカッションテーマ	現代社会における価値観の多様性にどう対処すべきなのか。講義の内容をふまえて、議論してください。

講義動画・過去の出題内容公開中

知のかけはし入学試験の過去の講義動画と入試の概要を紹介する動画を本学公式サイトにて公開中です。また、2019～2024年度知のかけはし入学試験の出題内容も公開中です。

